

第8章

廃棄物

第8章 廃棄物

1. ごみの状況

平成 28 年度のし尿を除く一般廃棄物の総処理量は 19,207t(家庭系ごみ量 15,400t・事業系ごみ量 3,807t)で、家庭系ごみ量を市民1人1日当たりに換算すると約 542gになります。

総排出量を収集区分別に見ると、家庭系普通ごみ量10,953t、事業系普通ごみ量3,807t、資源ごみ量2,161t、可燃粗大ごみ量 1,914t、不燃粗大ごみ量 299tとなっています(ごみ量は四捨五入)。

臨時ごみ(可燃粗大ごみ・不燃粗大ごみで、月1回各4点を超えたごみなど)、持込みごみ(一部を除く)、引越ごみ等、有料になるごみの申し込み件数は、臨時ごみ 304 件、持込みごみ 2,479 件、引越しごみ 77 件でした。

今後も、ごみの減量とリサイクルの推進に向けて、生ごみの水切りやレジ袋の削減(マイバック持参運動等)のほか、適正なごみの分別についての啓発に取り組みます。



(1) 収集と処理

- 一般家庭から出る普通ごみ(生ごみなど可燃ごみ)は、週2回収集を行いました。
- プラスチック製容器包装(以下「廃プラ」という。)とペットボトルは、週1回収集を行いました。
- 資源ごみの内、缶・ビン・なべ・乾電池は、月1回収集を行い、蛍光灯は拠点回収を行いました。
- 「古紙(新聞・雑誌等)」は、月1回収集し、牛乳パック、ダンボールは、交野市日中活動系事業所連絡会の協力により拠点回収を行いました。
- 可燃粗大ごみ・不燃粗大ごみは、月1回各4点以内を電話申し込みにより戸別収集を行いました。
- 普通ごみ・中間処理施設の可燃残渣・し尿処理施設のし渣及び破碎した可燃粗大ごみは焼却しました。
- 中間処理施設で残渣を除いた資源ごみ及び不燃粗大ごみの金属類は可能な限り再資源化を行い、その他の陶器、ガラス等は大阪湾広域臨海整備センターへ委託し埋め立てました。

◆人口とごみ処理量の推移(普通ごみには焼却し渣・残渣を含む)

年度	26年度	27年度	28年度
人口	77,928人	77,943人	77,913人
普通ごみ	11,160t	11,076t	11,026t
資源ごみ	2,121t	2,187t	2,161t
不燃粗大ごみ	356t	274t	299t
可燃粗大ごみ	1,676t	1,766t	1,914t
事業系ごみ	3,997t	4,101t	3,807t
合計	19,310t	19,404t	19,207t

(2) 資源ごみの処理

- 廃プラとペットボトルは、交野市・枚方市寝屋川市・四條畷市で運営する北河内4市リサイクルプラザで選別・圧縮梱包等の中間処理を行い、再資源化を行いました。

◆廃プラ・ペットボトルの処理量の推移

年度	26年度	27年度	28年度
ペットボトル	70,780kg	81,330kg	81,190kg
廃プラ	995,050kg	1,000,918kg	999,900kg
合計	1,065,830kg	1,082,248kg	1,081,090kg

○缶・ビンはリサイクルセンターで選別・圧縮梱包等の中間処理を行い、乾電池・蛍光灯となべ等の鉄・ステンレスは同センターで保管後、リサイクル業者へ送り、再資源化を行いました。

◆缶・ビン・なべ・乾電池・蛍光灯の処理量の推移

年 度	26 年度	27 年度	28 年度
アルミ缶	66,837 kg	64,434 kg	63,373 kg
スチール缶	93,930 kg	91,130 kg	87,230 kg
白ビン	271,120 kg	266,280 kg	253,200 kg
茶ビン	137,020 kg	142,160 kg	133,120 kg
その他ビン	86,670 kg	82,830 kg	82,200 kg
乾電池	7,800 kg	26,180 kg	24,320 kg
鉄・ステンレス	8,640 kg	11,360 kg	10,770 kg
蛍光灯	0 kg	8,200 kg	12,470 kg
合 計	672,017 kg	692,574 kg	666,683 kg

○古紙及び拠点回収した牛乳パック、ダンボールはリサイクル業者へ送り、再資源化を行いました。

◆古紙・牛乳パック・ダンボールの量の推移

年 度	26 年度	27 年度	28 年度
古 紙	367,390 kg	396,590 kg	399,060 kg
牛乳パック	14,750 kg	14,150 kg	12,880 kg
ダンボール	1,150 kg	1,120 kg	1,060 kg
合 計	383,290 kg	411,860 kg	413,000 kg

(3) 交野市ごみ減量化・リサイクル推進市民会議(4R市民会議)

ごみ減量・リサイクル推進に対する市民意識の向上と、良好な生活環境づくりを協議し、その実践活動を通して「環境にやさしい交野」の育成と4Rの推進に取り組む団体として、区長会を中心に組織され、「ごみの4R運動」や「レジ袋の削減」などを提唱し、各地域でのごみの排出マナーや意識高揚の啓発活動を行っています。

(主な事業活動)

- 1) 集団回収活動実態調査
- 2) マイバッグキャンペーン
- 3) ごみ処理現状把握のための施設見学
- 4) 環境フェスタ in 交野での啓発物品配布



◆集団回収実態調査結果の推移

年 度	26 年度	27 年度	28 年度
古布・古着	111,380 kg	116,520 kg	100,930 kg
ダンボール	192,045 kg	322,160 kg	175,450 kg
新聞・雑誌	1,222,100 kg	1,160,806 kg	1,081,163 kg
紙パック	2,820 kg	3,050 kg	2,174 kg
アルミ缶	23,700 kg	32,978 kg	22,574 kg
スチール缶	1,300 kg	1,600 kg	514 kg
合 計	1,553,345 kg	1,637,114 kg	1,382,805 kg

(4) 廃油回収

交野市消費生活問題研究会が主体となって、各地域で偶数月の第3土曜日に、家庭から出る廃食用油の回収を行いました。

平成 28 年度は、18 ヶ所に廃油回収場所を設けて回収を行いました。

天野が原町会館・藤が尾ふれあい館・松塚ふれあい館・星田市民センター・星田会館・寺集会所・星田山手自治会館・妙見坂自治会館・行殿団地・幾野集会所・倉治公民館・青山集会所・梅が枝集会所・私市山手自治会館・青葉台自治会館・星田西体育施設・交野市役所・個人宅1箇所

◆廃油回収量の推移

年度	26 年度	27 年度	28 年度
廃油	2,500 ℓ	2,610 ℓ	2,900 ℓ

2. し尿の状況

し尿収集運搬業務は、計画的な収集日程に基づき、2 ヶ月に 3 回、委託した 4 業者による収集を行いました。規制緩和による下水道指定業者の増加と公共下水の推進により、水洗切り替えを進めています。

平成 28 年 3 月末現在、し尿汲み取り人口は 876 人(465 世帯)で総人口に占める割合は 1.1%、浄化槽人口は 4,180 人(1,652 世帯)で同じく総人口に占める割合は 5.4%となっています。

◆し尿処理量の推移

年度	26 年度	27 年度	28 年度
生し尿	3,204.1 kℓ	3,224.9 kℓ	3,482.7 kℓ
浄化槽汚泥	2,898.9 kℓ	2,651.0 kℓ	2,598.0 kℓ